

このたびは、トヨタ純正 幌（スライド式）をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
本書は、幌（スライド式）を 取り付ける場合の取り付け要領について記載してあります。
取り付けの前に必ずお読み頂き、記載された内容に従って、正しい取り付けを行ってください。

- ・ 本品を改造して取り付けることは、絶対に行わないでください。
- ・ この取付要領書に記載されていない取り付けは絶対に行わないでください。
- ・ 記載事項を守らなかったため発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承ください。

別紙の取扱書に取扱上の注意事項を記載してありますのでお客様にお渡しの上、必ずお読みいただき、正しくご使用くださるようご説明をお願いいたします。

品 番

品 番

0 8 3 B 3 - B 5 0 2 0

取り付け上の注意事項

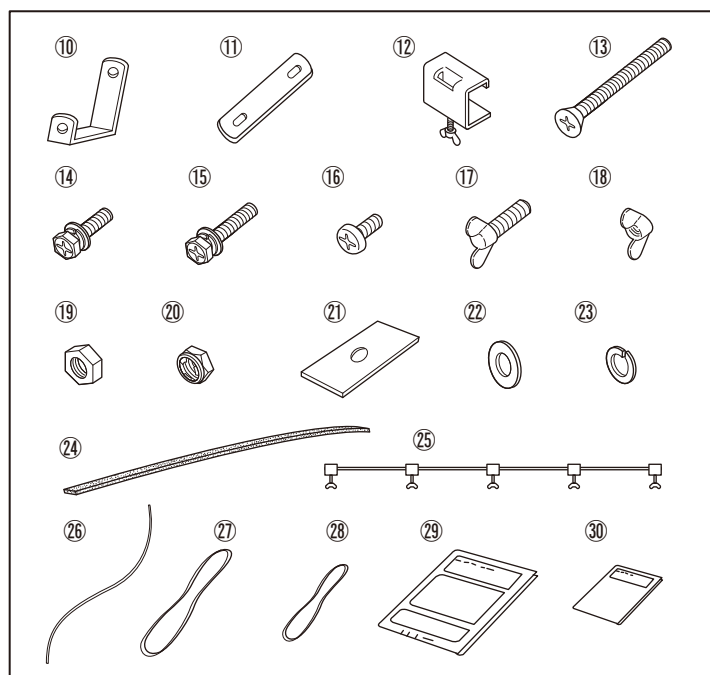
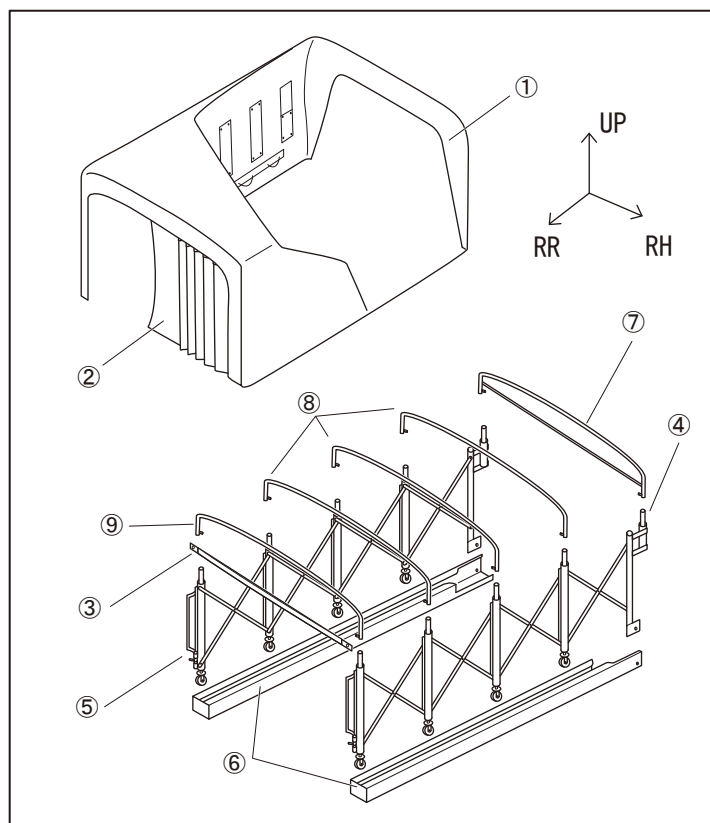
この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

 ご注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあることを記載しています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しております。

1. 取り付ける前にボディ保護のカバーを付けてください。
2. 車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
3. 取り付けの際、無理に引っ張るなどして縫い目を傷つけないようにしてください。
4. 本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。
5. 貼り付け部位に油脂分や汚れが付いていますと、脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等を使用し、十分に脱脂してください。
6. 脱脂剤等を使用する場合は、火気に充分注意して作業してください。

構成部品名

・取り付けの前に以下の表に従って、部品が揃っているかご確認ください。



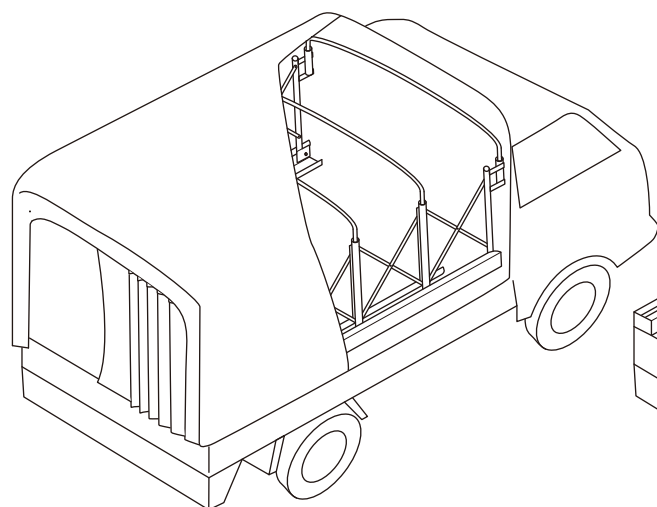
N o .	品 名	個 数
①	幌 (クレモナロープ取付済み)	1
②	カーテン布 (Sカン付)	1
③	カーテンレールパイプ	1
④	スライド式支柱 右	1
⑤	スライド式支柱 左	1
⑥	レール 左右	各 1
⑦	前アーチ	1
⑧	中アーチ	3
⑨	後アーチ	1
⑩	ササエ金具 (No. 1)	2
⑪	ササエ金具 (No. 2)	2
⑫	幌止金具 (蝶ボルト付)	6
⑬	ボルト (M6x55皿)	8
⑭	ボルト (M6x20セムス)	6
⑮	ボルト (M6x30セムス)	4
⑯	ボルト (M6x12ナベ)	2
⑰	蝶ボルト (M6x10)	10
⑱	蝶ナット (M6)	4
⑲	ナット (M6)	10
⑳	ロックナット (M6)	2
㉑	角ワッシャー	8
㉒	平ワッシャー (M6)	8
㉓	スプリングワッシャー (M6)	8
㉔	エプトシーラー	1
㉕	幌押さえ金具	1
㉖	ポリエステルロープ (600mm)	4
㉗	ゴムバンド 大 (2本予備)	8
㉘	ゴムバンド 小 (2本予備)	5
㉙	取付要領書	1
㉚	取扱書	1

取付に必要な工具等

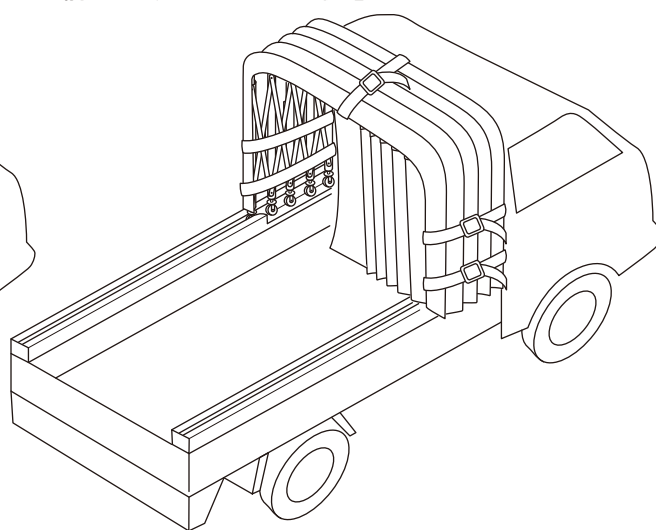
スケール、電動ドリル (6.5 mm)、ポンチ、ハンマー、丸ヤスリ、プラスドライバー、スパナ (10 mm)、トルクレンチ、プライヤー又はペンチ、タッチアップペイント等、水性ペン、ガムテープ、ウエス等、脱脂剤等、布、マスキングテープ、保護メガネ

取 付 概 要

取り付け図



前にスライドさせた状態



取 付 要 領

〔穴あけ作業と金具の取付け〕

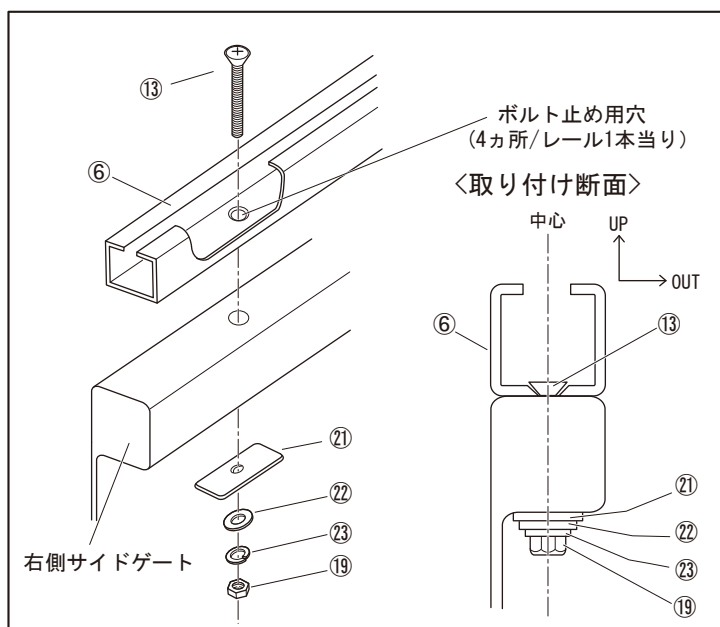
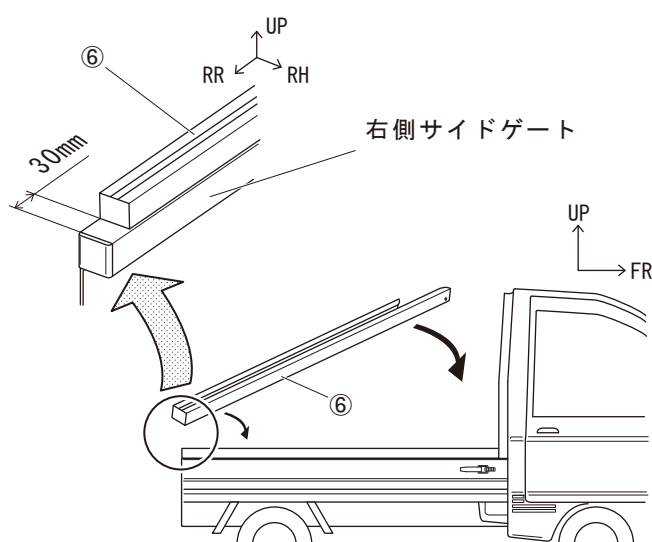
- (1) 左図を参考に、⑥レール 右 をサイドゲートの後端(エンドキャップを除く)から30mmの位置に置き、ガムテープ等で固定します。
- (2) ⑥レールの穴に合わせ、ボルト止め用穴あけ位置を水性ペン等でマークし、上穴・下穴共、左図のようにサイドゲートの中心になるように、穴を開けます。
(左右各4ヶ所・ドリル刃 6.5mm)

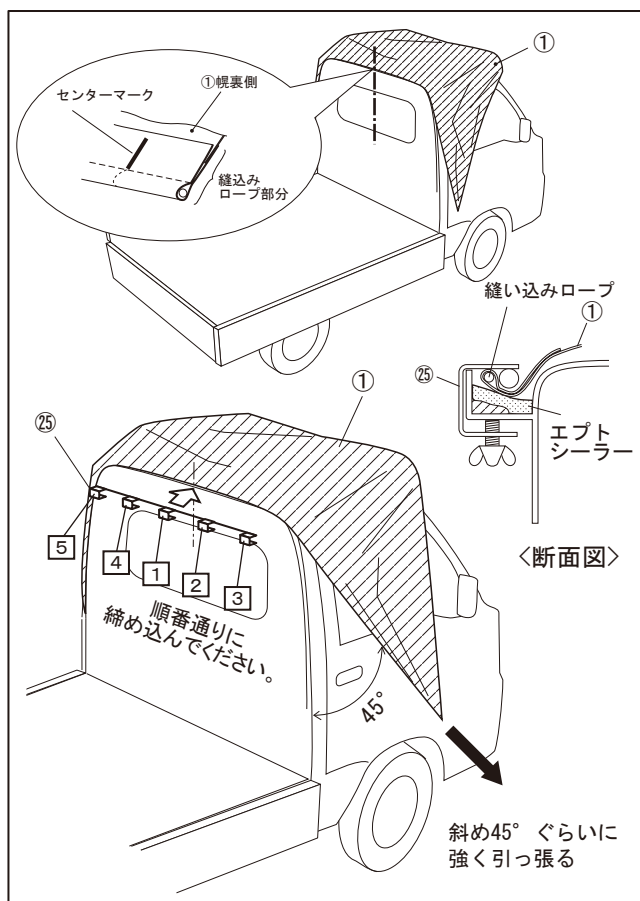
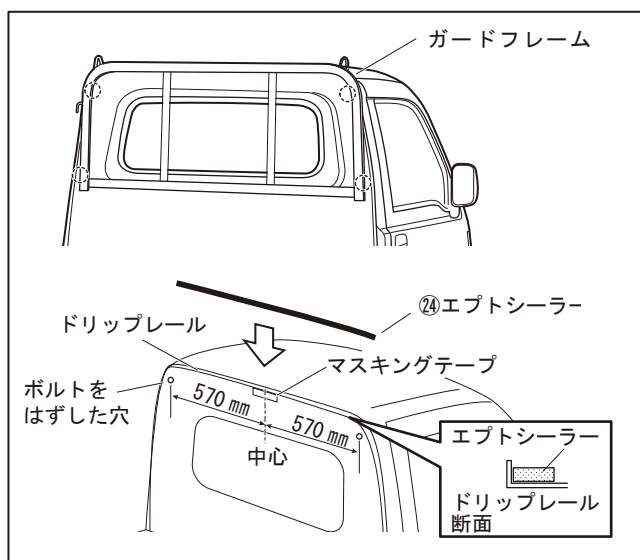
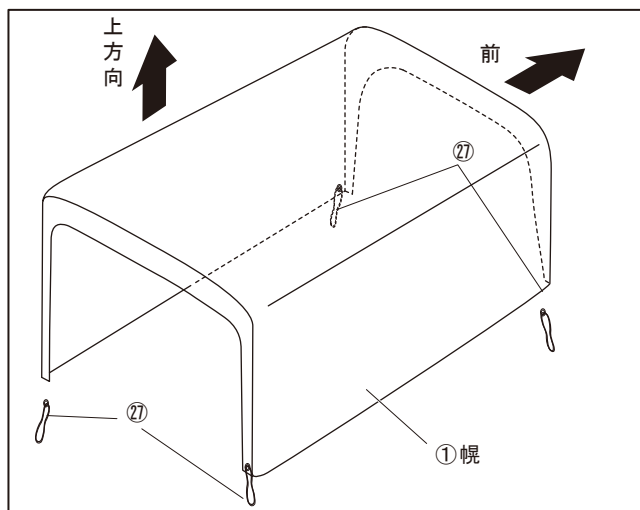
△ ご注意

- ・穴あけ加工の際は、保護メガネを着用して作業してください。また、巻き込み防止のため、手袋などは着用しないでください。
- ・穴を開ける前に位置の再確認をし、穴以外の所にキズをつけないように注意してください。穴あけ後は、丸棒ヤスリでバリなどを確実に取り除き、切り屑の処理後、タッチアップペイント等を塗布し、防錆処理をします。

- (3) ⑥レール 右 を⑬ボルト・⑳角ワッシャー・㉑平ワッシャー・㉒スプリングワッシャー・㉓ナットで取り付けます。(左図は右側を示しています、左側も同様作業をします。)

締め付けトルク 9.2 N・m





〔幌の取り付け〕

(1) ①幌に②⑦ゴムバンド大を左図を参考に取り付けます。

(2) 左右と後ろのゲートを下げ、左図のボルトをはずし、ガードフレームを一旦取りはずします。

(○ ボルト 4ヶ所)

△ ご注意

取り外したボルトは再使用できません。
(○ 印 4ヶ所)
復元の際は⑮ボルト (M6×30) を必ず使用してください。

👉 アドバイス

ボルトをはずした穴を利用して車両の中心をドリップレールにマス킹テープ等を貼ってマークします。

(3) ドリップレール部の汚れ等をよく拭き取り、②④エプトシーラーをドリップレールの上部に左右均等になるように貼り付けます。

△ ご注意

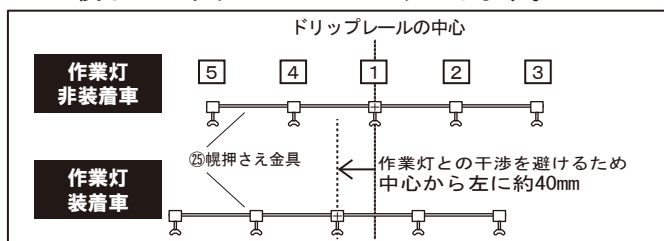
取り外した部品は再使用しますので、キズを付けたリ紛失しないように保管してください。

(4) ①幌の裏側の縫い込みロープ部の中心にはセンターマークが示されています。それを (2) でマークした中心に合わせて、ドリップレールへセットします。

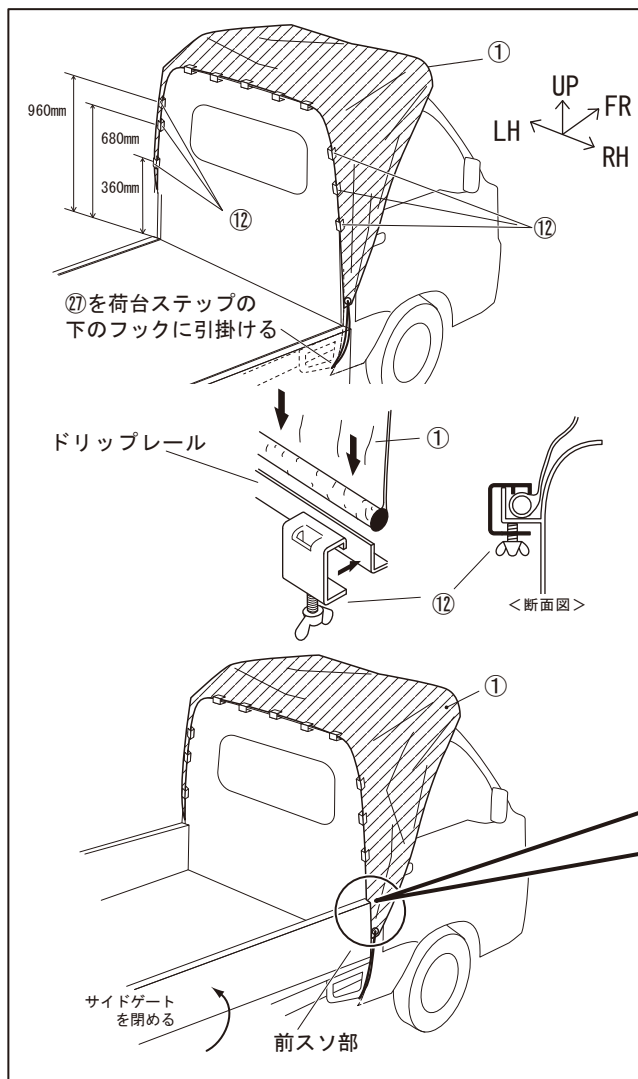
△ ご注意

- ・ ①幌をルーフに載せる際、キズ等がつくおそれがありますので、キズ付き防止用に布等を掛けて十分注意して作業してください。
- ・ ①幌の取り付けは2人作業で行ってください。

(5) ②⑤幌押さえ金具の中央部 ① を下図を参考にキャビン後ろのドリップレールにセットします。



次に②⑤幌押さえ金具の中央部 ① の蝶ネジをしっかりと締め込み、①幌を左図のように斜め下45° 位に強く引っ張った状態で、② ③ ④ ⑤ の順番通りに蝶ネジを締め込みます。



(6) ①幌に取り付けた②⑦ゴムバンド 大 を荷台ステップの下のフックに引掛けます。

(7) ⑫幌止金具で①幌の縫込みロープ部分を、ドリップレールに左図を参考に固定します。(6ヶ所)

⚠️ ご注意

- ⑫幌止金具で止める際、①幌が破れないように注意してください。
- ①幌の取り付けは2人作業で行ってください。

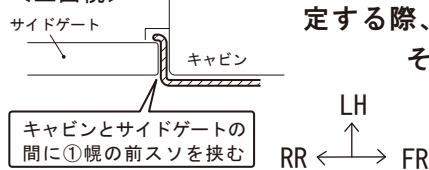
(8) ①幌の前スソをサイドゲートとキャビンの間に挟んでサイドゲート閉めます。

(左図の絵は、⑥レールを省略しています。)

⚠️ ご注意

- ①幌の前スソは必ずサイドゲートとキャビンの間に挟んでください。この作業を怠ると、①幌を前に寄せてバンドで固定する際、幌が破れるおそれがあります。

<上面視>



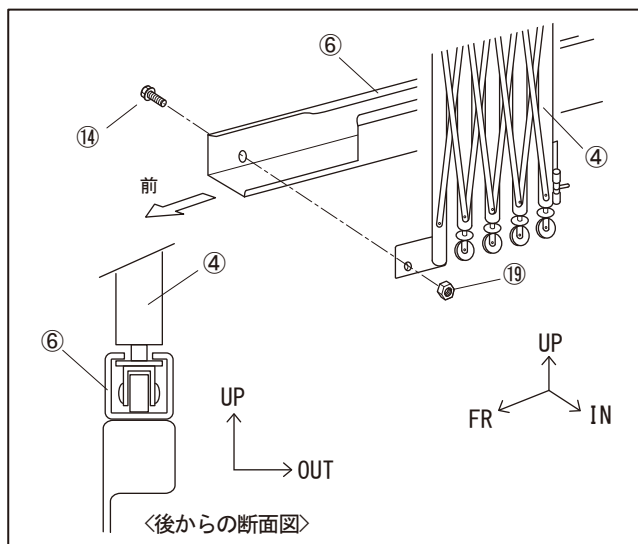
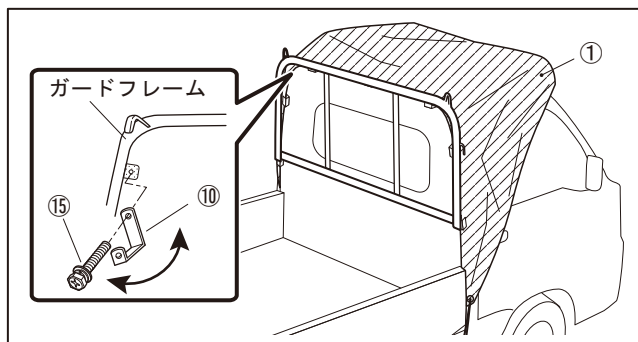
〔支柱の取り付け〕

(1) 取り外したガードフレームを上側2ヶ所は⑩ササエ金具(No.1)と合わせて⑮ボルトで復元します。下側2ヶ所は⑮ボルトのみで復元します。

※取り外したボルトは再使用できません。

👉 アドバイス

- ・⑮ボルトは、⑩ササエ金具(No.1)が軽く動く程度に仮締めにします。
- ・仮締めから30分以上経過しますと、接着剤の効力が発生していきます。

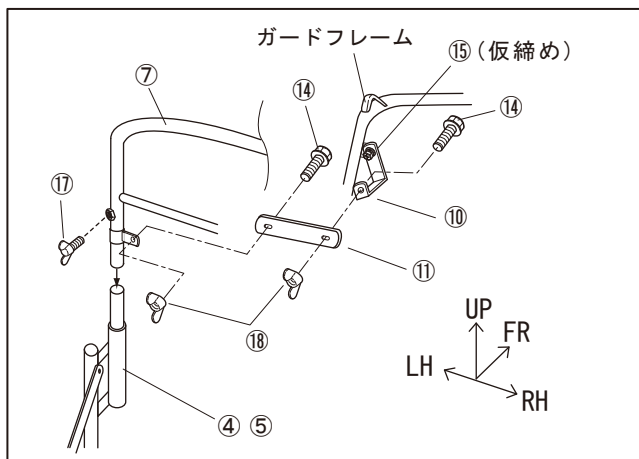


(2) ⑥レール 右 に④スライド式支柱 右 を前側から通し、前側ブラケットを⑭ボルトと⑲ナットで固定します。

(左図は右側の取り付け図です。左側、⑤スライド式支柱 左 も同様に組み立てます。)

⚠️ ご注意

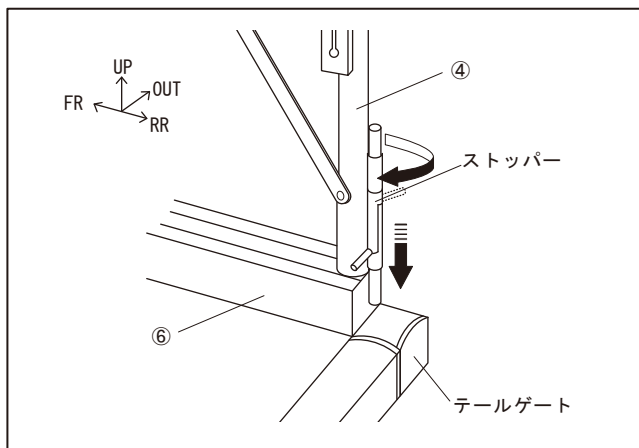
- 締め付け参考トルク (M6) 5.0 N・m
- 安全のため、支柱、アーチの固定は2人作業で行ってください。
- ビス類に付け忘れ・緩みがあると事故につながるおそれがありますので、安全のため、しっかりと確認してください。



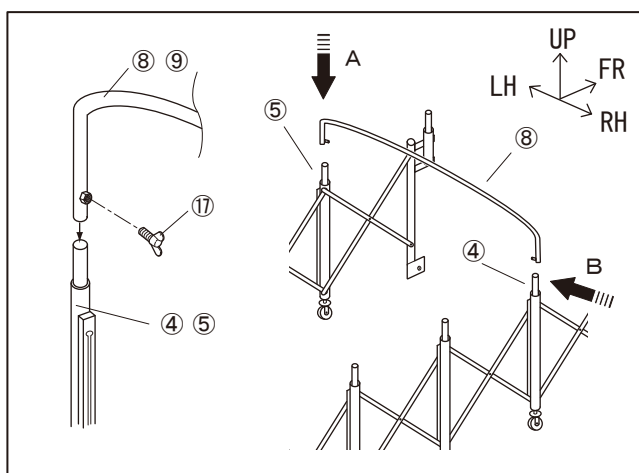
(3) ④、⑤スライド式支柱の最前部の支柱に⑦前アーチを挿し込み、⑰蝶ボルトで固定します。
(左右共)

(4) ガードフレームと共に取り付けした⑩ササエ金具 (No. 1) に⑪ササエ金具 (No. 2) を介して、⑦前アーチを⑭ボルトと⑱蝶ナットで左図のように固定し、仮締めめの⑮ボルトを本締めします。(左右共)

締め付けトルク 7 N・m



(5) ④、⑤スライド式支柱を後にスライドさせ、ストッパーで止めます。(左右共)



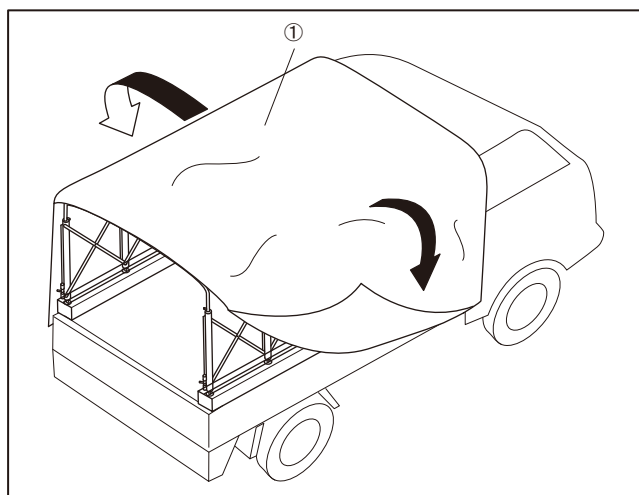
(6) ④、⑤スライド式支柱の最後部の支柱に⑨後アーチを挿し込んでから⑧中アーチを中間の支柱に差し込み、⑰蝶ボルトで固定します。(左右共)

アドバイス

⑧中アーチは、片側(左図A)を⑤スライド式支柱に挿し込んでから、④スライド式支柱を内側(左図B)に押し込み、たわませながら挿し込みます。

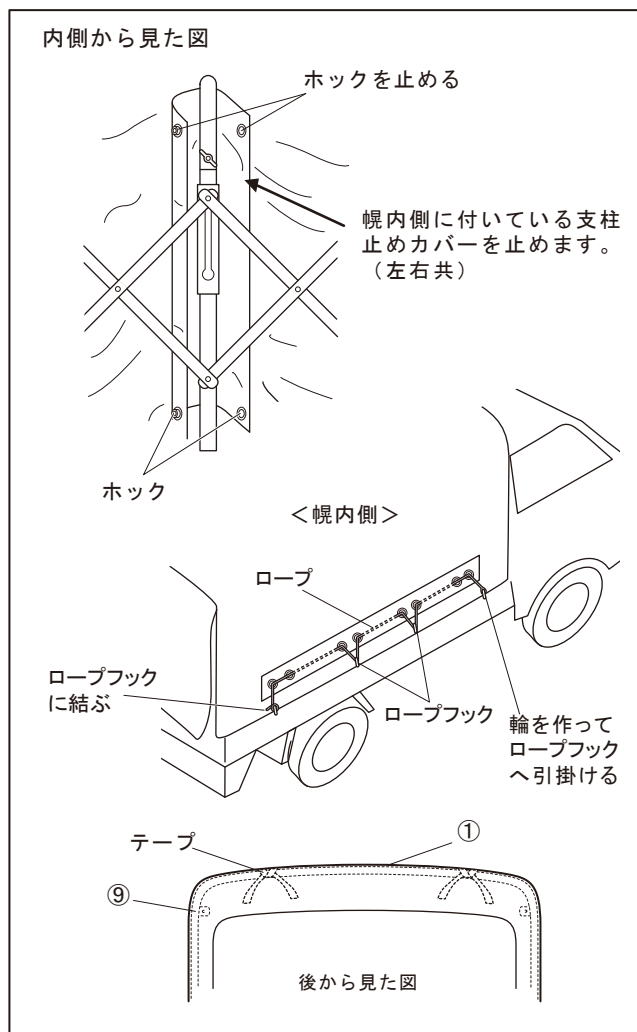
〔幌張作業〕

(1) ①幌をスライド用骨組みの上に廻し、両サイドを下ろします。



△ご注意

①幌をかける際、金具等に引掛りますと破れ・キズ等がつくおそれがありますので注意してください。

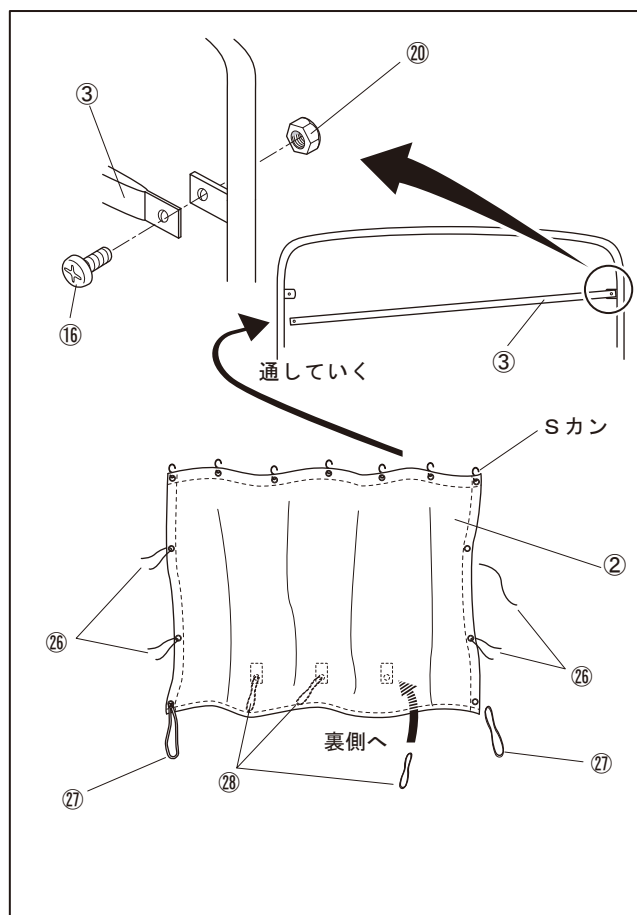


- (2) ①幌内側に付いている支柱止めカバーを止めます。
(左右各4ヶ所ホック止め)
- (3) ①幌内側に取り付けられているロープをロープフックに掛けて止めます。
- (4) ①幌の後側(室内)に付いているテープを⑨後アーチに
縛りつけます。(室内側2ヶ所)

⚠ ご注意

①幌をしっかり止めていないと、走行中に外れるおそれがありますので、取り付けが確実に行われているか確認してください。

〔カーテン布の取り付け〕



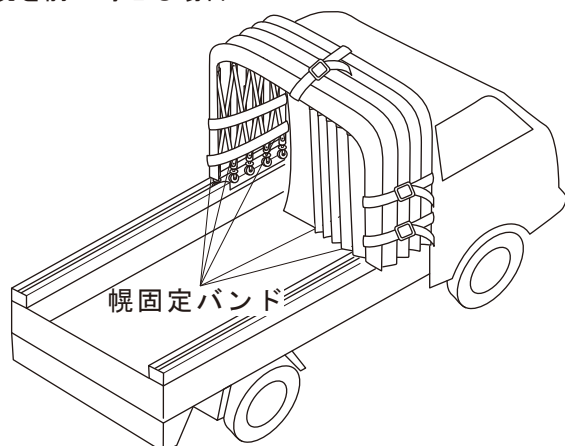
- (1) ②カーテン布に②⑥ポリエステルロープ(600mm)・②⑦ゴムバンド大・②⑧ゴムバンド小を左図を参考に取り付けます。
- (2) ⑨後アーチに③カーテンレールパイプを、①⑥ボルト・②⑦ロックナットで片側を固定します。
- (3) ②カーテン布に付いているSカンを、③カーテンレールパイプに通していきます。
※②カーテン布を③カーテンレールパイプに通し終わったら、プライヤーまたはペンチで②カーテン布が抜けない程度にSカンを少し閉じます。
- (4) (2) で取り付けした③カーテンレールパイプの反対側を①⑥ボルト・②⑦ロックナットで固定します。

締め付けトルク 7 N・m

⚠ ご注意

②カーテン布や①幌を固定せず走行されると、積載物が落下し、事故を招くおそれがありますので、走行する際は必ず、②カーテン布や①幌を②⑥ロープと②⑦②⑧ゴムバンドでしっかりと固定してください。

幌を前に寄せる場合



①幌を前に寄せる場合は、①幌内側のロープをロープフックから外し、前に寄せ、幌固定バンド（５ヶ所）で①幌を止めます。

△ ご注意

②カーテン布や①幌を固定せず走行されますと、積載物が落下し、事故を招くおそれがありますので、走行する際は必ず、②カーテン布や①幌を②ロープと幌固定バンドでしっかりと固定してください。

△ ご注意

- 幌を張って使用される場合は、必ず最後部支柱をストッパーで止めてご使用願います。
- 幌を前後にスライドさせる場合は、交互に少しずつスライドさせてください。
- 幌を前に寄せて使用される場合は、必ずバンドで幌を止めて使用してください。

お手入れについて

1. 幌の汚れをふき取る場合は、洗剤・薬品などは使用しないでください。汚れの場合は、布などに水を含ませ軽くふき取ってください。
2. 幌を外して保管される時、水で濡れている場合は確実に乾かしてからたたみ、キズ等が付かないよう保管してください。ビス類・部品等はくさいないように袋に入れ、金具等は紙などで梱包し、湿気のないところに保管してください。

取付後の点検

1. 本取付要領書書に従って正しく取り付けられているか、又、ボルト類の締め付け具合を再チェックしてください。
2. ゴムバンド大、小は予備を同梱しております。

取扱上の注意

1. 安全のため、運転の前には必ずボルト・ビス類の緩みがないか点検し、増し締めをしてください。また、幌を止めている部品の止め忘れがあると事故を招くおそれがありますので、必ず所定の位置に止めているか、点検をして走行をしてください。
2. 幌を前後にスライドさせる場合、交互に少しずつスライドさせてください。
3. 幌セットは、雪の重量により支柱やアーチが変形するおそれがあります。その為、降雪時には車両を屋内に駐車するか、降雪・積雪前に必ず幌を外すように注意してください。
4. 積載する荷物の都合で、幌及び金具の一部を取り外しての使用は事故のおそれがありますので、行わないようにしてください。
5. 幌は防水に配慮はしておりますが、取り付け構造上完全な防水仕様にはなっておりません。走行時、停車時にかかわらず、水漏れの可能性がありますので、荷物によっては、漏水による損傷を受ける場合があります。十分にご注意ください。
6. 車検時、「積載物」と判断され、取り外しとなる場合があります。あらかじめご了承ください。
7. 幌を前に寄せて走行する際は、できるだけ幌を内側へたたんでバンドで固定し、サイドミラーで後方視界を妨げていないか確認してから走行してください。